





組み合わせで
1年中野菜作りを楽しもう!
**輪作が
おすすめ!**
連作障害を防ぐために…

同じ場所で同じ作物を長年栽培すると、連作障害により病害虫被害を受けやすくなります。そこで、種類(科名)の異なる作物を組み合わせ、数年間隔の輪作をおこなうことで、連作障害を防ぐことができます。

連作障害とは

同じ場所で同じ野菜を続けて栽培すると、土中の一部の成分だけが吸収されたり、同じ肥料分が残り、土中のバランスが崩れてしまいます。その為病害虫に侵されやすくなり、野菜の生育が悪くなります。これを「連作障害」といいます。

■同じ科の野菜の連作は避けましょう!

科	主な野菜の種類	障害の発生例
ナス科	ナス・ミニトマト・じゃがいも・ピーマン 	青枯れ病・疾病
ウリ科	すいか・キュウリ・かぼちゃ・メロン 	ネコブセンチュウ
マメ科	えだまめ・そらまめ・さやいんげん・さやえんどう 	根腐れ病
アブラナ科	大根・小松菜・キャベツ・白菜・カリフラワー・ブロッコリー・かぶ 	根こぶ病・萎黄病

例) ナス(ナス科)を作った後にトマト(ナス科)は作らずに、ナス(ナス科)を作ったらキュウリ(ウリ科)など異なる科の作物を作るようにします。